

2021年12月22日

報道関係各位

認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ

20周年に向けてNPOクラブのシニアが活動中 2021年度 中間事業報告会を学士会館で開催



▲学士会館。写真丸枠は助川理事長。

認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ（東京都千代田区、理事長：助川英治、以下「NPOクラブ」）は去る12月15日、東京・千代田区の学士会館で第20期（2022年3月期）の中間事業報告会を開催しました。

当日は新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、「三密」を避けるため、通常時120名程度収容できる会場（ドラマ『半沢直樹』で利用された部屋）に正会員62名が出席、さらに54名の会員と特定支援会員1社がオンラインで参加しました。

今年5月の通常総会が新型コロナウイルスの影響でオンライン主体となったため、会員の集う会合を開いたのは、昨年12月の第19期中間事業報告会以来1年ぶりとなります。

今回は「1. 中間事業報告」「2. 中間見直し予想説明」「3. グループ再編について」「4. 個別案件・事例説明」等の報告があり、そのほかに「新入会員紹介」や「お楽しみイベント年末落語会」「懇親会」が行われました。

1. 中間事業報告では、助川英治理事長が本年度上期の活動を振り返りつつ、6月から本格スタートした「2021～2023年度 中期活動方針」の進捗状況を報告しました。

中期活動方針はNPOクラブの3カ年の活動方針を定めたもので、＜A. 中小企業への経営支援活動（収益活動）＞、＜B. 社会貢献活動（非収益活動）＞、＜C. 運営体制の整備・充実＞——の3つの基本方針から構成されています。

各基本方針には過去のNPOクラブの実績や今後の展開、10年後のあるべき姿などを参考に複数の重点課題を設定しており、それぞれの課題にリーダー・担当メンバーを選任し、組織内で情報共有するなど着実な実行を図る運営体制を敷いています。

＜基本方針A＞の中小企業への経営支援活動については、主要事業である中小企業の販路開拓支援活動がコロナ禍で制限される中、上期はオンラインによるマッチング・展示商談





会への対応を精力的に行い、困難な事態に対処しました。

昨年より開始した企業意向調査結果にもとづく総合的な経営支援活動では①デジタル技術導入支援、②お気やかな経営相談、③補助金制度活用支援、④国内ポータルサイトによる販路開拓支援活動が着実に進展しています。

＜基本方針 B＞の社会貢献活動では、講演会や教育機関への講師派遣を通じて人材育成を支援する講演会グループが、より活動範囲を広げるべく名称を本来の目的である「次

世代育成支援グループ」に変更しました。

また、「SDGs の活用支援」も重点課題の一つに定め、NPO クラブの活動をその観点から整理し、組織内で共有化を図ることにしました。それとともに、対外的にも SDGs への取り組みを謳うことで NPO クラブの存在感アップにつなげ、中小企業への普及も含めた活動を展開していく予定です。

＜基本方針 C＞の運営体制の整備・充実については、来年在 20 周年の節目を迎えることもあり、事務局体制の強化など運営体制を大幅に見直すことになりました。重点課題として「運営組織の見直し・実行」「支援活動環境整備、対話の場の拡大」「デジタル環境整備、会員対応力向上」「寄付金募集活動推進」等を設定し、引き続き世の中から受け入れられる組織たるべく運営体制の整備・充実を図っていきます。

2. 中間見直し予想説明については、酒井基次事務局長より部門別収入や収支計算推移表の説明が行われました。

3. グループ再編については、10 年ぶりの大幅再編ですが、宮崎清業務推進委員長より 10 年前との比較、案件チームの変遷、そして今回再編の趣旨や経緯の説明が行われました。

4. の個別案件・事例説明として、(1) 福島廃炉関連企業の競争力強化支援事業（森本五百樹リーダー）は福島県内の企業 8 社に対し、福島第一原発の廃炉関連事業に参入するための支援を行うものです。事業期間は 2021 年 6 月～2022 年 2 月に及ぶ大型案件で、NPO クラブでは約 20 名のメンバーから成る「廃炉プロジェクト」を設置して取り組んでいます。

NPO クラブでは支援企業 8 社の強化問題点の分析と解決案の提案、解決ツールの提供、セミナーの実施などを通じて各社の競争力アップを支援中です。

(2) 20 周年記念事業（井料敏和実行委員長）については、テーマを『「皆様への感謝！」と「NPO クラブの更なる発展のために！」』にしました。過去 20 年にわたり NPO クラブを支えてくださった関係者の皆様への感謝と、これまでの活動を紹介・総括し、さらなる発展を期す想いを込めています。

今年 4 月に準備委員会を立ち上げて、毎月 1 回定例会議を実施し、招待リスト班・特別記念講演班・記念誌制作実行班や記念パーティー会場の選定等も着々と進んでいます。

記念講演やパーティーは 2022 年 10 月 5 日に大手町サンケイホールで行われる予定ですが、本記念事業をきっかけに今後こうした情報も含め、当クラブの活動をメディア等に積極的にアピールしていく考えです。

各事業の報告後、今年入会した会員のうち、リアル参加の 5 名と WEB 参加の関西会員 4 名が自己紹介を行って報告会は一区切りがつき、休憩をはさんで年末の「お



▲個別案件・事例説明（左列：福島廃炉関連企業支援、右列：20 周年記念事業）

楽しみイベント」、八代目 春風亭柳橋師匠（日本落語芸術協会副会長）の落語を聞きました。長らくオンライン会議等が続き、自宅から出なかった会員も多くいたので、みんな当代一流の落語家による至芸をたっぷり堪能し、笑い声が会場いっぱいに響きました。

落語の後は、昨年実施できなかった懇親会も万全なコロナ対策の下で行い、会員たちは久々の交流を楽しみました。



新入会員紹介



お楽しみイベント 年末落語会



懇親会の武



<本件に関する問い合わせ先>

認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ
広報チーム 担当：井料、宇川 TEL:03-5577-6785
<https://www.ka-npo.com/>

